

冬場の凍結を防ぐ

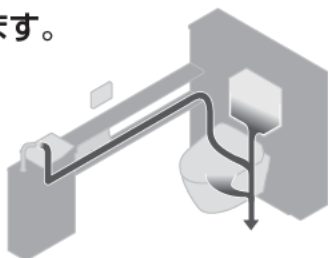
大便器部

凍結予防には2通りの方法があります。
凍結が予想されるときは、以下の処置を行いましょう！

- 商品が凍結すると機器が破損します。(水漏れの原因)
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が凍結予防限界温度以下にならないようにしてください。

水抜方式

器具および配管中の水を抜いて凍結を予防します。

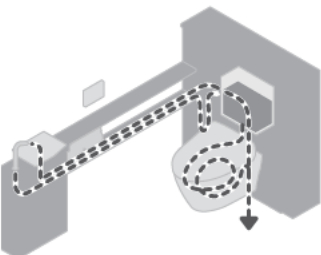


凍結予防限界温度

大便器・タンク	室内暖房用	0℃
	ヒーター付便器併用	-15℃
ウォシュレット部		0℃
手洗器部		0℃

流動方式

少量の水を流し続けて凍結を予防します。
水は動いていると0℃以下でも凍りにくい性質があります。
※タンクの流動レバーを開けた場合、水が流れ続けますので、水道代が加算されます。(目安:90L/時)
※ウォシュレット部に流動方式はありません。

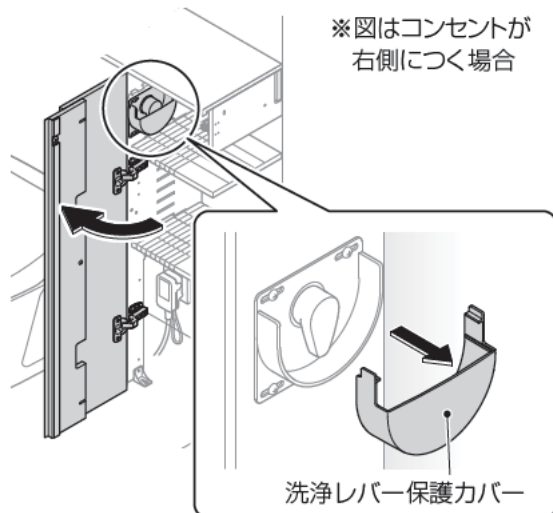


凍結予防限界温度

大便器・タンク		-10℃
手洗器部		-10℃

水抜方式

- ① キャビネット扉を開ける
- ② 水抜栓(他社商品)またはキャビネット内の止水栓で、給水を止める
参照 水抜栓の操作方法は、水抜栓の取扱説明書を参照してください。
- ③ 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する
※凍結のおそれがないときはヒーターの電源プラグは抜いてください。
- ④ 洗浄レバー補助カバーを外側へ引いて外す



- ⑤ 洗浄レバーを、手前側いっぱいに戻したまま外側に引く



- ⑥ レバーがロックされ、タンク内の水が大便器に抜ける
- ⑦ 洗浄レバーのカバーを付ける

長期間使わないとき

便器内にたまっている水は、不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
不凍液は、そのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。
便器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

- 1 洗浄レバーを内側に押し込んで
下向きに回す
- 2 水抜き栓または大便器キャビネット内の
止水栓を操作して通水状態にする
- 3 洗浄レバー補助カバーを付ける



流動方式

- 1 流動レバーのあるキャビネットを開ける

I型		L型	
カウンターなし	カウンターが右側	カウンターが左側	
		天板の下に収納あり	天板の下に収納なし

- 2 流動レバーを操作する

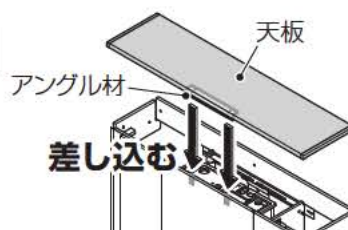


※流動レバーは、キャビネット開口部の内側にあります。
※再使用の場合、流動レバーを奥壁側へいっぱいに戻してください。

- 3 キャビネット、天板を戻す

L型・天板の下に収納なしの場合

天板のアングル材を前板の金具に差し込む



こんなときは

冬場の凍結を防ぐ

手洗器部

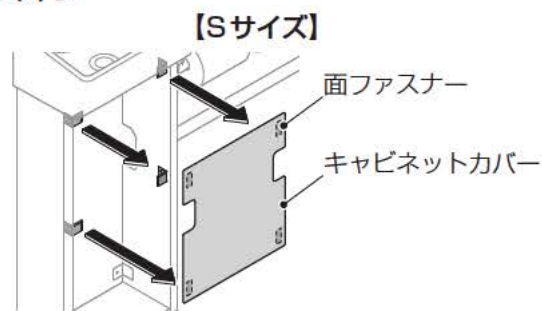
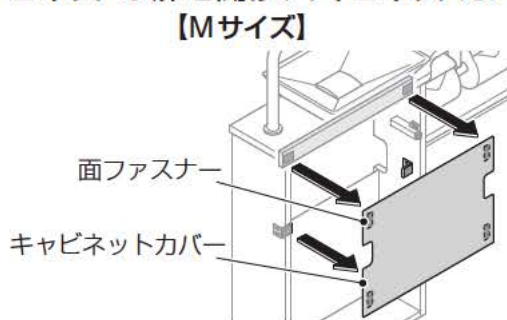
水抜き方式

ハンドル式水栓

- ① 手洗器給水管用の水抜き栓（他社商品）を、排水（水抜き）側に切り替える
参照 水抜き栓の操作方法は、水抜き栓の取扱説明書を参照してください。
- ② 止水栓のハンドルを開にする
はじめに P.10
- ③ 水抜きが終わったら、水栓のハンドルを閉める

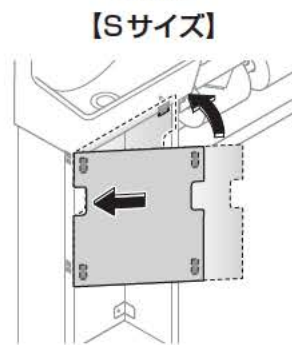
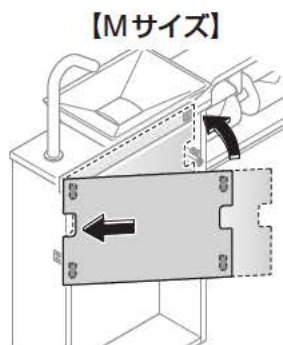
自動水栓

- ① 水抜き栓（他社商品）を操作し、給水を止める
 ※止水栓は開けたままにしておいてください。
- ② キャビネットの扉を開け、キャビネットカバーを取り外す



※キャビネットカバーは強力な面ファスナーで固定されています。落下などに十分気をつけながら、両手で取り外してください。

- ③ 自動水栓機能部の水抜き栓を開ける
- ④ 水抜きが終わったら、自動水栓機能部の水抜き栓を閉める
- ⑤ キャビネットカバーを取り付ける



※キャビネットカバーとキャビネットカバー固定材の面ファスナーをしっかり張り合わせてください。



注意



必ず実行

取付時は強く押し込む
落下してケガの原因となります。

長期間使わないとき

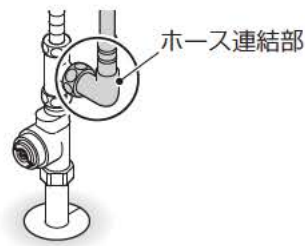
水抜き後、手洗器排水口に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
不凍液は、そのまま流さないでください。環境汚染などのおそれがあります。
L 型手洗器ご使用前には、不凍液を回収し廃棄処理をしてください。

水抜き後の再通水

ハンドル式水栓の水が出ないときは、キャビネット左扉をあけてホースの連結部をお湯に浸した布であたためる



【床給水】



流動方式

止水栓のハンドルを開き、少量の水を流す

※再使用の際は、ハンドルを戻してください。

使いかた P.11

トイレを長期間使わないとき

トイレに長期間水が溜まっていると、腐敗して皮膚の炎症を起こす原因に。
使わないときは、水抜きを行いましょう！

冬の凍結を防ぐ：水抜き方式 P.32

- 長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。
こうしておけば留守中に水漏れを起こさず、安心です。

はじめに P.10

こんなときは

冬の凍結を防ぐ／トイレを長期間使わないとき